

インターロッキングブロック舗装

Vol.31

Technical Report

－ 設計編4 －

(平面設計(その1))

1. 平面設計

(1) 平面設計の考え方

① 基本的な考え方

ILブロックには、多種多様な形状・寸法、敷設パターン、色調、表面テクスチャがあり、その選択次第で舗装の耐久性や安全性、快適性、景観性などが変化します。したがって、これらの影響を十分に把握した上で平面設計を行う必要があります。

② 平面設計のフロー

ILブロック舗装の平面設計は、図1のフローに準拠して行います。

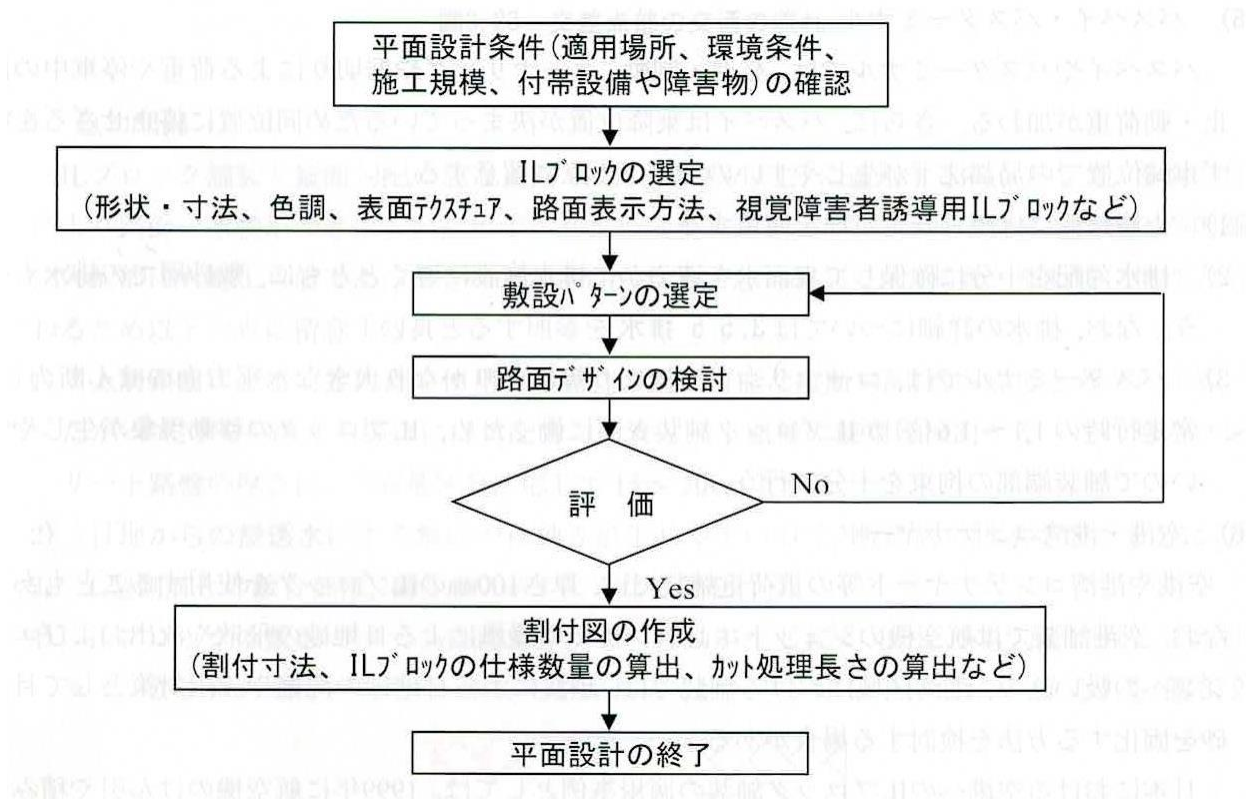


図1 ILブロック舗装の平面設計のフロー

(2)IL ブロック舗装の特徴を活かした適用事例

IL ブロックの形状・寸法や敷設パターン、色調、表面テクスチャなどの特徴を強調した適用事例には以下のようなものがあります。

- ① 運転者に注意を喚起するために、路面に変化を与えた例
- ② 路面にハンプや段差を意図的に設けた例
- ③ バスベイやタクシーベイなどの駐停車帯を一般の走行車線と区別した例

以 上